



市長 推名 千収

地域が元気になる

まちづくりに邁進

新春のご挨拶を申し上げます。

大震災から1年と10カ月が過ぎました。突然の被災という悪夢のような現実を乗り越え、新しい未来に向かって懸命にご努力くださいます皆様に敬意を表します。

内政においては景気の低迷、震災からの復興、原発事故、外交においては円高や領土問題など、難問が数多く発生しました。年末には衆議院の解散総選挙がおこなわれ、新しい内閣が誕生して新年を迎えました。

私達の祖国日本は今、社会的経済的に困難な時代に入ったのだと思います。この事はそのまま地域社会の姿でもあります。周りを見回しても援助を求める先が見当たりません。いよいよ自らを頼む時代がやってま

いりました。

今年の4月から後期計画に入る山武市総合計画では、その将来都市像として「誰もががしあわせを実感できる独立都市さんむ」を掲げています。新年度には庁舎が増築され、二つのこども園も開園します。五つのこども園は子育て支援のセンターとしての大きな役割を果たすこととなります。

今年は津波復興事業をはじめ多くの計画を予定しています。松尾のまちづくりや蓮沼タワー建設など、地域コミュニティの元気を取り戻す計画をスピード感を持って進めてまいります。市民の皆様とともに手を携えて誇りを持てるまちづくりに邁進いたします。





議長 萩原 善和

## 多くの皆様と対話し

### 「声」を市政に反映

明けましておめでとうございます。

輝かしい平成二十五年の新春を迎えるにあたり、市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

平素は、皆様方から市議会に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年もさまざまなできごとがあった二年でございました。

明るい話題としては、ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍やノーベル医学・生理学賞を山中教授が受賞するなど、国民に夢と希望を与え、とりわけ東日本大震災の復興に取り組む人々を勇気付けるものとなったことと思います。

本市におきましては、二つのことも園の着工や市のマスコットキャラクター「SUNムシくん」の誕生、蓮沼海浜公園のミニトレインが震災の被害から立ち直ったことなどがありました。

特に、市の将来を担う子どもたち

の教育と保育環境の充実を目指して、「（仮称）なるとうこども園」と「（仮称）しらはたこども園」が4月に開園する予定です。幼い子をお持ちの保護者の皆様には、大きな期待と喜びで開園が待ち遠しいと思います。

これからも明るい話題が絶えない、住んでいて良かったと思っていただける市になるよう、市民と行政、議会が共に手を携えてまちづくりに努めることが望まれます。

市議会といたしましても、社会動向を的確に把握するとともに、多くの皆様方と対話を重ね、意見をお聴きして、議会の活性化に努め、皆様の声を市政に反映できるよう努力いたします所存でございます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつをいたします。